



各位

2021年11月11日

会社名  日本タンクステフ株式会社
 代表者名 取締役社長 後藤 信志
 (コード番号 6998 東証2部、福証)
 問合せ先 取締役執行役員 山崎 洋
 経営管理本部長
 (TEL 092-415-5500)

通期業績予想の修正並びに剰余金の配当及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2021年5月20日に公表いたしました通期業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

また、2021年9月30日を基準とする剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正につきまして、下記のとおり決定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正

① 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	11,000	700	860	580	240.56
今回修正予想 (B)	11,500	900	1,000	750	311.31
増減額 (B-A)	500	200	140	170	
増減率 (%)	4.5	28.6	16.3	29.3	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	9,894	275	643	△62	△26.02

② 2022年3月期通期個別業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,400	510	730	510	211.53
今回修正予想 (B)	11,000	650	900	650	269.81
増減額 (B-A)	600	140	170	140	
増減率 (%)	5.8	27.5	23.3	27.5	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	9,364	123	561	△306	△126.96

③ 修正の理由

今後の経済見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中で、世界経済は先進国と発展途上国の回復に差があるものの、全体として回復基調で推移するものと思われ

れます。当社グループが注力する市場におきましても、自動車部品市場での半導体不足による生産減少の懸念や、衛生用品・医療用部品市場での設備投資の回復の遅れの懸念等あるものの、引き続き回復基調で推移するものと思われまます。

当社グループの通期業績は、中国経済の減速懸念や材料価格の高騰など今後の不確実性は残るものの、第2四半期までの業績が好調に推移したことから、現時点では第3四半期以降の業績は比較的底堅く推移するものと見込んでおります。

このため、2021年5月20日に公表した2022年3月期通期の連結及び個別業績予想値を上方へ修正いたします。

2. 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正

①剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2021年5月20日公表)	前期実績 (2021年3月期中間配当)
基準日	2021年9月30日	同左	2020年9月30日
1株当たり配当金	50円00銭	40円00銭	0円00銭
配当金総額	120百万円	—	—
効力発生日	2021年12月7日	—	—
配当原資	利益剰余金	—	—

②期末配当予想の修正の内容

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (2021年5月20日)	40円00銭	40円00銭	80円00銭
今回修正予想		50円00銭	100円00銭
当期実績	50円00銭		
前期実績 (2021年3月期)	0円00銭	40円00銭	40円00銭

③修正の理由

当社は株主の皆様への利益還元につきましては、親会社株主に帰属する当期純利益の30%を目安に、新商品開発を推進するための設備・人財・研究などへの戦略的投資、中長期的な企業財務体質の強化等を総合的に勘案しつつ、安定的・継続的な配当に努めております。

また、1株当たりの株主価値を向上させるとともに、資本効率の向上を図るため、適宜自己株式の取得に努めております。

上記の方針に基づき、剰余金の配当（中間配当）は前回発表予想から1株当たり10円増配の50円とさせていただくことを決定いたしました。

また、期末配当予想につきましては、2022年3月期通期の業績予想値を上方に修正したことにより、当初予想40円から1株当たり50円とすることといたしました。この結果、年間配当（中間配当1株当たり50円を含む）予想は、1株当たり100円となります。

※上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上